

照会先  
厚生労働省社会・援護局  
障害保健福祉部企画課  
統計調査係長 上原（内 3007）  
代表 03-5253-1111

## 平成17年知的障害児（者）基礎調査結果の概要

平成19年 1月24日  
社会・援護局障害保健福祉部 企画課

### 調査の概要

#### 1 調査の目的

この調査は、在宅知的障害児（者）の生活の実状とニーズを正しく把握し、今後における知的障害児（者）福祉行政の企画・推進の基礎資料を得ることを目的とした。

#### 2 調査の対象及び客体

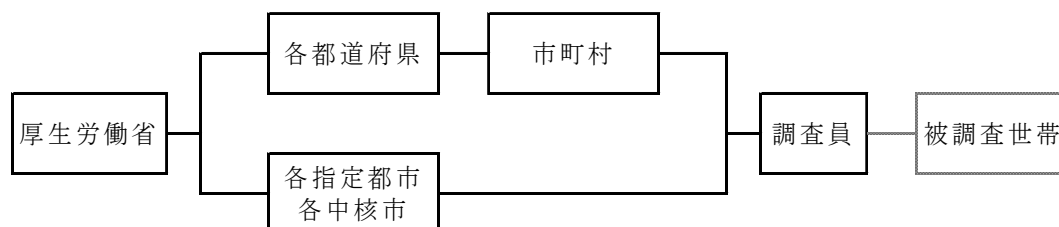
全国の在宅知的障害児（者）を対象として、平成12年国勢調査により設定された調査区から、150分の1の割合で無作為抽出された地区を対象調査区としたところ、客体は2,584人、調査票の回収数は2,123で回収率は82.2%、有効回答数は2,075件で有効回答率は80.3%であった。

※ この調査は在宅を対象とし、社会福祉施設入所者（知的障害児施設、自閉症児施設、重症心身障害児施設、知的障害者更正施設（入所）、知的障害者授産施設（入所））は対象とされていない。（グループホーム、通勤寮、福祉ホーム利用者は対象としている。）

#### 3 調査の時期

平成17年11月1日現在

#### 4 調査の機関



#### 5 調査の方法

- (1) 調査員が、調査地区内の世帯を訪問し、調査の趣旨等を説明のうえ、調査対象者の有無の確認を行う。
- (2) 調査対象者がいる場合は、調査票を手渡し、記入及び郵送による返送を依頼する。（自計郵送方式）
- (3) 調査票は、原則として調査対象者本人が記入する。

## 6 調査の集計

調査の集計は、社会・援護局障害保健福祉部が行った。

## 7 利用上の注意

### (1) 表章記号の規約

計数のない場合 ー

統計項目上ありえない場合 ・

(2) この概況に掲載の数値は四捨五入してあるため、内訳の合計が「総数」に合わない場合がある。

(3) この概況に掲載の表の単位は「人」、( ) は%である。

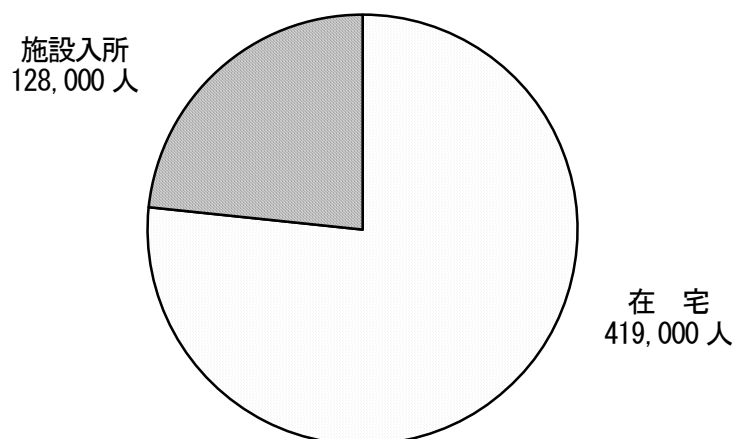
# 調査結果の概要

## 1 知的障害児（者）の総数及び年齢分布（推計値）

### (1) 総数

平成17年11月現在、全国の在宅知的障害児（者）は、419,000人と推計される。

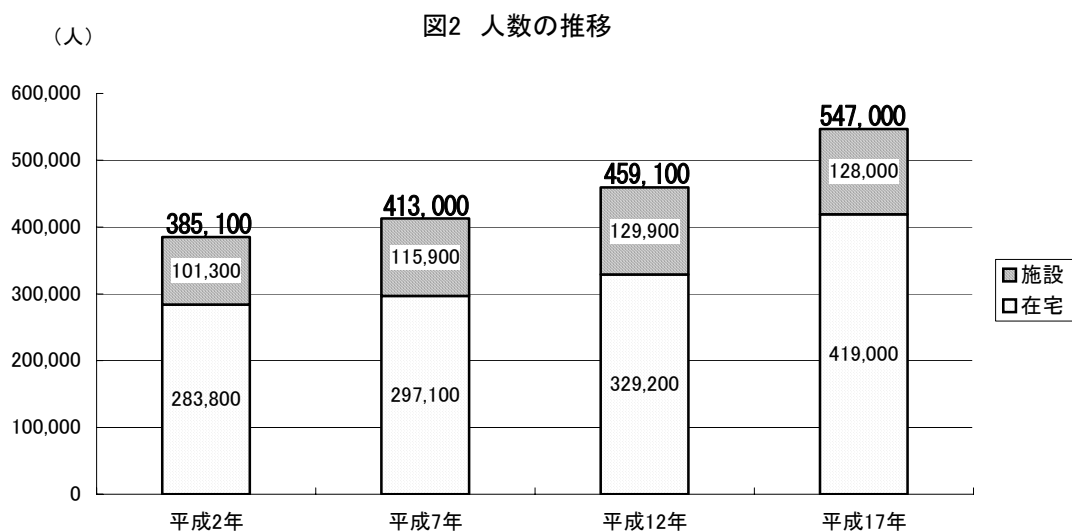
図1 全国の知的障害児（者）数（総数：547,000人）



※「在宅」は、今回の調査結果による。

※「施設入所」は、社会福祉施設等調査（平成16年10月1日現在）によるものであり、参考として載せたものである。

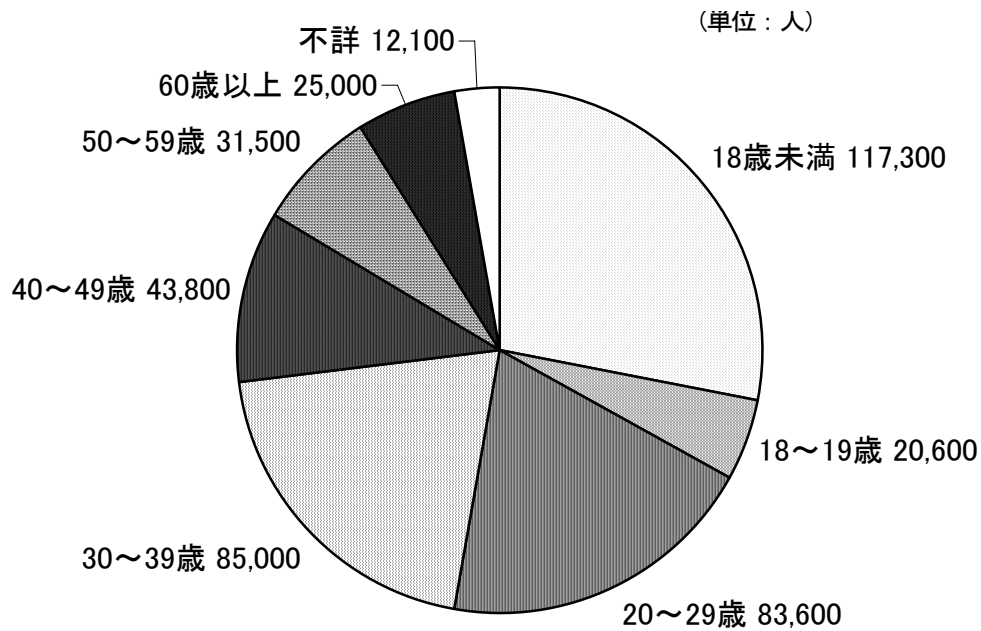
○参考：知的障害児（者）数の推移



(2) 年齢分布

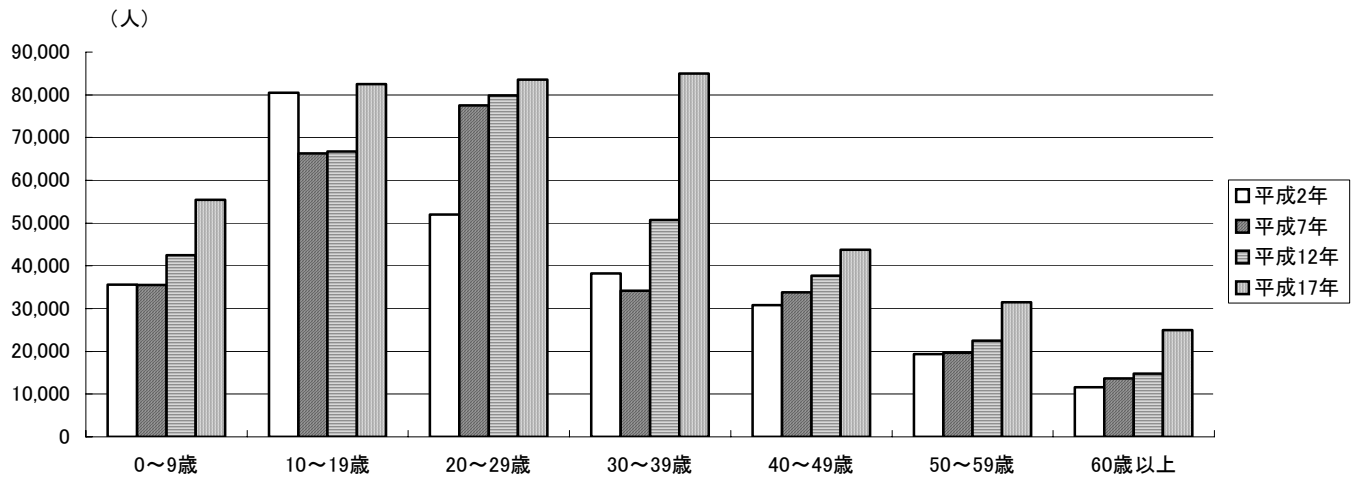
在宅の知的障害児（18歳未満）は117,300人、知的障害者（18歳以上）は289,600人と推計される。  
 （なお、12,100人の年齢不詳の人あり）

図3 年齢分布



○参考：知的障害児（者）の年齢分布の推移

図4 年齢分布の推移



※平成17年度調査における人口千人当たりの人数（人）

0~9歳	10~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60歳以上
4.9	6.6	5.7	4.8	2.8	1.6	0.7

## 2 障害の程度（推計値）

### (1) 障害の程度

「最重度」「重度」が39.3%、「中度」「軽度」は48.8%となっている。18歳未満の「最重度」「重度」は42.7%、「中度」「軽度」は50.8%、18歳以上の「最重度」「重度」は39.2%、「中度」「軽度」は49.0%となっている。

図5 障害の程度

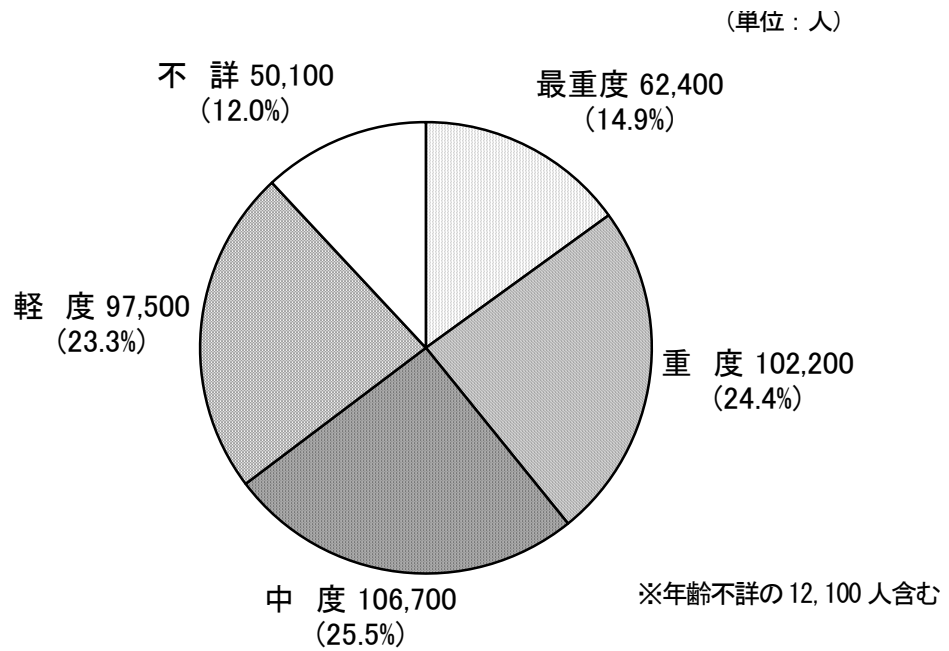
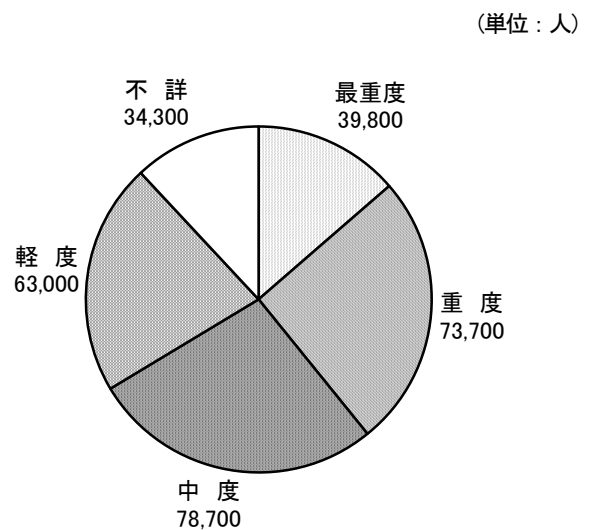
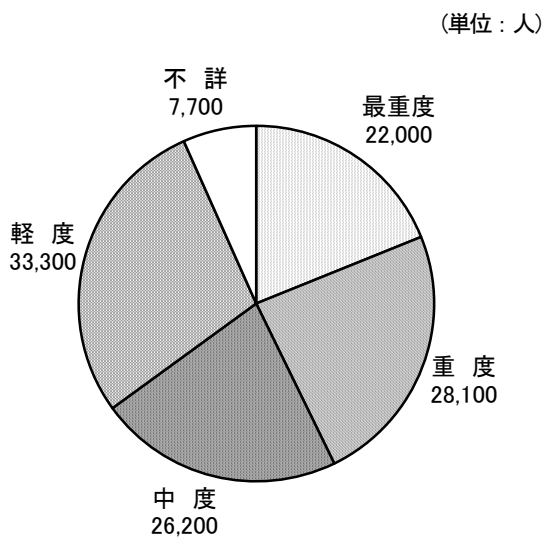


図6 18歳未満

図7 18歳以上



○参考：障害の程度の推移

(人)

図8 障害の程度の推移

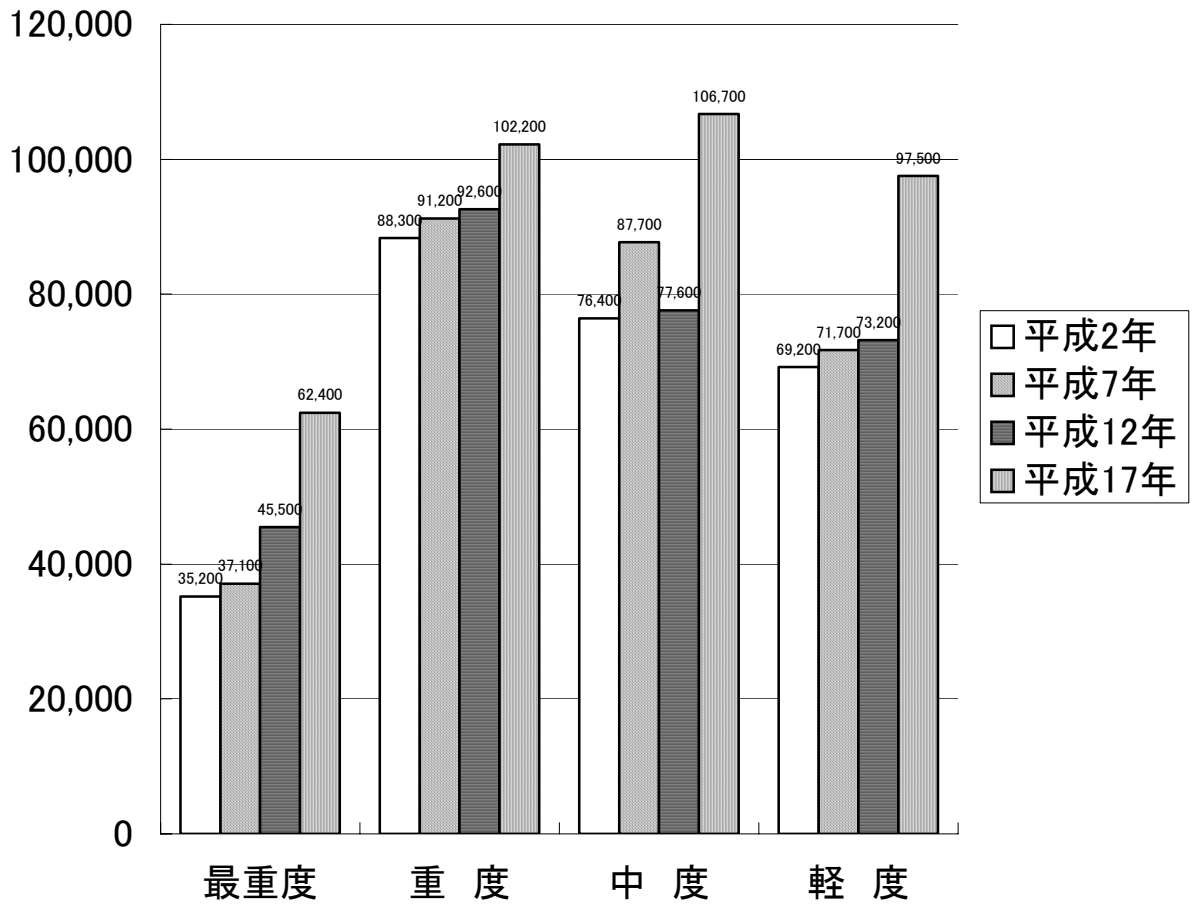


図9 18歳未満

(人)

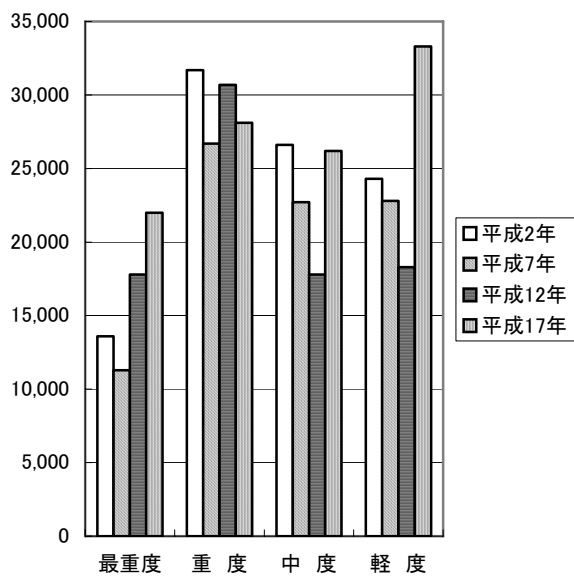


図10 18歳以上

(人)

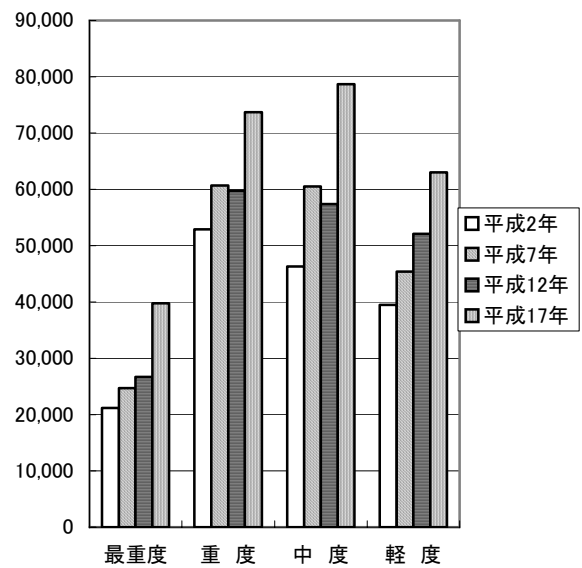


表1 男女別・年齢階層別・障害の程度別人数（推計値）

	総数	男	女	不詳	最重度	重度	中度	軽度	不詳
総数	419,000 (100.0)	243,300 (58.1)	166,400 (39.7)	9,300 (2.2)	62,400 (14.9)	102,200 (24.4)	106,700 (25.5)	97,500 (23.3)	50,100 (12.0)
18歳未満	117,300 (100.0)	75,500 (64.4)	41,400 (35.3)	400 (0.3)	22,000 (18.8)	28,100 (23.9)	26,200 (22.4)	33,300 (28.4)	7,700 (6.5)
0～4	15,600	9,900	5,700	-	3,600	2,000	4,000	4,800	1,000
5～9	39,800	25,400	14,100	200	6,700	10,100	8,500	12,700	1,800
10～14	36,300	25,400	10,900	-	6,100	11,300	8,500	7,300	3,200
15～17	25,600	14,800	10,700	200	5,600	4,600	5,200	8,500	1,600
18歳以上	289,600 (100.0)	165,800 (57.3)	123,400 (42.6)	400 (0.1)	39,800 (13.7)	73,700 (25.5)	78,700 (27.2)	63,000 (21.8)	34,300 (11.9)
18～19	20,600	12,700	7,900	-	4,400	4,200	5,000	5,700	1,200
20～29	83,600	47,700	35,900	-	16,800	22,400	20,000	16,600	7,900
30～39	85,000	51,700	33,100	200	10,700	25,000	22,400	20,000	6,900
40～49	43,800	24,400	19,400	-	3,200	7,500	16,000	10,100	7,100
50～59	31,500	16,600	14,700	200	1,400	6,900	10,300	6,500	6,500
60～64	9,700	5,400	4,200	-	1,400	2,600	2,000	1,800	1,800
65以上	15,300	7,300	8,100	-	1,800	5,000	3,000	2,400	3,000
不詳	12,100 (100.0)	2,000 (16.7)	1,600 (13.3)	8,500 (70.0)	600 (5.0)	400 (3.3)	1,800 (15.0)	1,200 (10.0)	8,100 (66.7)

※ 以降は、実際の回答数（有効回答数 2,075 件）による集計結果である。

表2 男女別・年齢階層別・障害の程度別人数

	総数	男	女	不詳	最重度	重度	中度	軽度	不詳
総数	2,075 (100.0)	1,205 (58.1)	824 (39.7)	46 (2.2)	309 (14.9)	506 (24.4)	529 (25.5)	483 (23.3)	248 (12.0)
18歳未満	581 (100.0)	374 (64.4)	205 (35.3)	2 (0.3)	109 (18.8)	139 (23.9)	130 (22.4)	165 (28.4)	38 (6.5)
0～4	77	49	28	-	18	10	20	24	5
5～9	197	126	70	1	33	50	42	63	9
10～14	180	126	54	-	30	56	42	36	16
15～17	127	73	53	1	28	23	26	42	8
18歳以上	1,434 (100.0)	821 (57.3)	611 (42.6)	2 (0.1)	197 (13.7)	365 (25.5)	390 (27.2)	312 (21.8)	170 (11.9)
18～19	102	63	39	-	22	21	25	28	6
20～29	414	236	178	-	83	111	99	82	39
30～39	421	256	164	1	53	124	111	99	34
40～49	217	121	96	-	16	37	79	50	35
50～59	156	82	73	1	7	34	51	32	32
60～64	48	27	21	-	7	13	10	9	9
65以上	76	36	40	-	9	25	15	12	15
不詳	60 (100.0)	10 (16.7)	8 (13.3)	42 (70.0)	3 (5.0)	2 (3.3)	9 (15.0)	6 (10.0)	40 (66.7)

### 3 保健面、行動面

保健面では身体的健康に嚴重な看護が必要な「1度」が3.9%となっている。行動面では行動上の障害が顯著で常時付添い注意が必要な「1度」が7.8%となっている。その他の程度については、「用語の定義」を参照されたい。

表3 保健面

	総数	1度	2度	3度	4度	5度	不詳
総数	2,075 (100.0)	80 (3.9)	160 (7.7)	278 (13.4)	488 (23.5)	581 (28.0)	488 (23.5)

表4 行動面

	総数	1度	2度	3度	4度	5度	不詳
総数	2,075 (100.0)	161 (7.8)	213 (10.3)	468 (22.6)	378 (18.2)	365 (17.6)	490 (23.6)

### 4 生活の場の状況

#### (1) 生活の場の状況

「自分の家やアパートで暮らしている」が、85.7%となっており、地域における生活の大部分を占めている。18歳以上でみると、「グループホーム」が前回から3.5ポイント増えている。

表5 生活の場

		総数	自分の家や アパート	会社の寮	グループ ホーム	通勤療	その他	不詳
今回	総数	2,075 (100.0)	1,779 (85.7)	6 (0.3)	136 (6.6)	2 (0.1)	132 (6.4)	20 (1.0)
	18歳未満	581 (100.0)	559 (96.2)	1 (0.2)	(-)	(-)	21 (3.6)	(-)
	18歳以上	1,434 (100.0)	1,176 (82.0)	5 (0.3)	127 (8.9)	2 (0.1)	108 (7.5)	16 (1.1)
	不詳	60 (100.0)	44 (73.3)	(-)	9 (15.0)	(-)	3 (5.0)	4 (6.7)
前回	総数	(100.0)	(86.9)	(0.5)	(3.7)	(0.2)	(7.5)	(1.0)
	18歳以上	(100.0)	(84.2)	(0.7)	(5.4)	(0.1)	(8.3)	(1.2)

(2) 生活同居者

「親、兄弟姉妹と暮らしている」は42.1%、「親と暮らしている」は34.3%となっており、親等の家族と暮らしている者は76.3%となっている。18歳以上では、「ひとりで暮らしている」が5.6%、「夫婦で暮らしている」が3.1%となっている。

表6 生活同居者

	総数	ひとりで	夫婦で	親と	親、兄弟姉妹と	兄弟姉妹と	友達と	その他	不詳	
今回	総数	2,075 (100.0)	89 (4.3)	48 (2.3)	711 (34.3)	873 (42.1)	76 (3.7)	83 (4.0)	175 (8.4)	20 (1.0)
	18歳未満	581 (100.0)	(-)	(-)	161 (27.7)	386 (66.4)	(-)	3 (0.5)	30 (5.2)	1 (0.2)
	18歳以上	1,434 (100.0)	81 (5.6)	44 (3.1)	533 (37.2)	472 (32.9)	73 (5.1)	77 (5.4)	139 (9.7)	15 (1.0)
	不詳	60 (100.0)	8 (13.3)	4 (6.7)	17 (28.3)	15 (25.0)	3 (5.0)	3 (5.0)	6 (10.0)	4 (6.7)
前回		(100.0)	(3.5)	(1.8)	(32.6)	(47.0)	(3.8)	(4.0)	(6.1)	(1.1)

5 将来の生活の場の希望

「親と暮らしたい」「兄弟姉妹と暮らしたい」が合わせて38.5%となっている。「夫婦で暮らしたい」が12.9%、「グループホーム」が12.8%、「施設」が7.5%となっている。

前回と比較すると、「親と暮らしたい」「施設」等が減少しているのに対し、「ひとりで」「グループホーム」が増えている。

表7 将来の生活の場の希望

	総数	ひとりで	夫婦で	親と	兄弟姉妹と	友達などと	グループホーム	施設	その他	不詳	
今回	総数	2,075 (100.0)	164 (7.9)	267 (12.9)	665 (32.0)	133 (6.4)	36 (1.7)	266 (12.8)	156 (7.5)	172 (8.3)	216 (10.4)
	18歳未満	581 (100.0)	25 (4.3)	97 (16.7)	209 (36.0)	7 (1.2)	7 (1.2)	76 (13.1)	25 (4.3)	58 (10.0)	77 (13.3)
	18歳以上	1,434 (100.0)	133 (9.3)	161 (11.2)	447 (31.2)	119 (8.3)	29 (2.0)	183 (12.8)	128 (8.9)	112 (7.8)	122 (8.5)
	不詳	60 (100.0)	6 (10.0)	9 (15.0)	9 (15.0)	7 (11.7)	(-)	7 (11.7)	3 (5.0)	2 (3.3)	17 (28.3)
前回		(100.0)	(6.3)	(11.6)	(33.2)	(8.3)	(1.6)	(11.5)	(8.6)	(6.8)	(12.2)

## 6 日中活動の場の状況

「就学前」では「自分の家」が35.9%、「就学」では「障害児のための学校」が55.4%となっている。「卒業」している人では、「作業所」「通所施設」が合わせて46.1%、「自分の家」が25.0%、「職場・会社」が17.5%となっている。

表8 活動の場

総数	就学前	就学	卒業	不詳		
2,075 (100.0)	312 (15.0)	464 (22.4)	1,262 (60.8)	37 (1.8)		
就学前	通園施設	保育所	幼稚園	養護学校 幼稚部	自分の家	その他
312 (100.0)	93 (29.8)	50 (16.0)	24 (7.7)	7 (2.2)	112 (35.9)	26 (8.3)
就学	障害児の ための学校	障害児の ための学級	訪問教育	学校の 普通学級		
464 (100.0)	257 (55.4)	151 (32.5)	5 (1.1)	51 (11.0)		
卒業	職場・会社	作業所	通所施設	デイサービス センター	自分の家	その他
1,262 (100.0)	221 (17.5)	201 (15.9)	381 (30.2)	48 (3.8)	316 (25.0)	95 (7.5)

## 7 将来の日中活動の場の希望

昼間の過ごし方について翌年における希望を聞いたところ、「就学前」では「自分の家」が30.4%、「就学」では「障害児のための学校」が55.1%となっている。「卒業」後は、「作業所」「通所施設」が合わせて43.9%、「職場・会社」が25.4%、「自分の家」が20.6%となっている。

表9 将来の活動の場の希望

総数	就学前	就学	卒業	不詳		
2,075 (100.0)	204 (9.8)	439 (21.2)	1,294 (62.4)	138 (6.7)		
就学前	通園施設	保育所	幼稚園	養護学校 幼稚部	自分の家	その他
204 (100.0)	52 (25.5)	54 (26.5)	24 (11.8)	2 (1.0)	62 (30.4)	10 (4.9)
就学	障害児の ための学校	障害児の ための学級	訪問教育	学校の 普通学級		
439 (100.0)	242 (55.1)	137 (31.2)	6 (1.4)	54 (12.3)		
卒業	職場・会社	作業所	通所施設	デイサービス センター	自分の家	その他
1,294 (100.0)	329 (25.4)	201 (15.5)	367 (28.4)	58 (4.5)	267 (20.6)	72 (5.6)

学校を卒業予定及び卒業している者の現在の状況と将来の希望を比較してみると、現在「自分の家」と回答している人のうち25.5%の人が「職場・会社」「作業所」等、外での活動を希望している。また、現在「自分の家」の人のうち14.4%、「作業所」「通所施設」の人についても約1割の人が、「職場・会社」での一般就労を希望している。

表10 「卒業」に該当する人の「現在の活動の場」と「希望する活動の場」の比較

将来の希望 現在	総数	職場・会社	作業所	通所施設	デイサービスセンター	自分の家	その他
総数	1,294 (100.0)	329 (25.4)	201 (15.5)	367 (28.4)	58 (4.5)	267 (20.6)	72 (5.6)
職場・会社	216 (100.0)	203 (94.0)	( - )	1 (0.5)	( - )	8 (3.7)	4 (1.9)
作業所	200 (100.0)	20 (10.0)	165 (82.5)	10 (5.0)	( - )	4 (2.0)	1 (0.5)
通所施設	366 (100.0)	31 (8.5)	9 (2.5)	310 (84.7)	4 (1.1)	6 (1.6)	6 (1.6)
デイサービスセンター	48 (100.0)	( - )	2 (4.2)	2 (4.2)	43 (89.6)	( - )	1 (2.1)
自分の家	306 (100.0)	44 (14.4)	12 (3.9)	14 (4.6)	8 (2.6)	219 (71.6)	9 (2.9)
その他	158 (100.0)	31 (19.6)	13 (8.2)	30 (19.0)	3 (1.9)	30 (19.0)	51 (32.3)

## 8 外出の状況

### (1) ひとりでの外出状況

ひとりでの外出状況を見ると、「よく出かける」「時々出かける」が合わせて35.5%である。

表11 ひとりでの外出状況

	総数	よく出かける	時々出かける	ほとんど出かけない	不詳
総数	2,075 (100.0)	450 (21.7)	287 (13.8)	833 (40.1)	505 (24.3)
今回					
18歳未満	581 (100.0)	55 (9.5)	35 (6.0)	317 (54.6)	174 (29.9)
18歳以上	1,434 (100.0)	386 (26.9)	243 (16.9)	498 (34.7)	307 (21.4)
不詳	60 (100.0)	9 (15.0)	9 (15.0)	18 (30.0)	24 (40.0)
前回	(100.0)	(23.2)	(12.7)	(39.3)	(24.8)

表12 ひとりでの外出状況（程度別）

	総 数	よく出かける	時々出かける	ほとんど出かけない	不 詳
総 数	2,075 (100.0)	450 (21.7)	287 (13.8)	833 (40.1)	505 (24.3)
最 重 度	309 (100.0)	11 (3.5)	7 (2.3)	176 (57.0)	115 (37.2)
重 度	506 (100.0)	46 (9.1)	37 (7.3)	256 (50.6)	167 (33.0)
中 度	529 (100.0)	143 (27.0)	101 (19.1)	187 (35.4)	98 (18.5)
軽 度	483 (100.0)	182 (37.7)	108 (22.4)	133 (27.5)	60 (12.4)
不 詳	248 (100.0)	68 (27.4)	34 (13.7)	81 (32.7)	65 (26.2)

(2) だれかとの外出状況

だれかとの外出状況を見ると、「よく出かける」「時々出かける」が合わせて72.3%である。

表13 だれかとの外出状況

	総 数	よく出かける	時々出かける	ほとんど出かけない	不 詳	
総 数	2,075 (100.0)	850 (41.0)	650 (31.3)	316 (15.2)	259 (12.5)	
今 回	18歳未満	581 (100.0)	401 (69.0)	138 (23.8)	25 (4.3)	17 (2.9)
	18歳以上	1,434 (100.0)	430 (30.0)	500 (34.9)	279 (19.5)	225 (15.7)
	不 詳	60 (100.0)	19 (31.7)	12 (20.0)	12 (20.0)	17 (28.3)
前 回	(100.0)	(38.3)	(32.7)	(18.0)	(11.0)	

## 9 地域活動の状況

### (1) 地域活動への参加状況

「よく参加する」「時々参加する」が合わせて25.9%であり、「ほとんど参加しない」「参加したことはない」が合わせて67.5%である。

表14 地域活動への参加状況

	総 数	よく参加する	時々参加する	ほとんど参加しない	参加したことはない	不 詳
今回	総 数 2,075 (100.0)	143 (6.9)	394 (19.0)	561 (27.0)	840 (40.5)	137 (6.6)
	18歳未満 581 (100.0)	42 (7.2)	134 (23.1)	162 (27.9)	226 (38.9)	17 (2.9)
	18歳以上 1,434 (100.0)	96 (6.7)	250 (17.4)	389 (27.1)	595 (41.5)	104 (7.3)
	不 詳 60 (100.0)	5 (8.3)	10 (16.7)	10 (16.7)	19 (31.7)	16 (26.7)
前回	(100.0)	(6.0)	(19.2)	(27.8)	(39.8)	(7.1)

※「よく参加する」と回答のあったもののうち主な活動

- ・各種スポーツ活動
- ・子ども会の行事
- ・青年学級
- ・地域のお祭り 等

### (2) 地域活動不参加者（(1)で「ほとんど参加しない」「参加したことはない」と答えた人）の地域活動への参加希望

地域活動不参加者の地域活動の参加希望状況は、「わからない」が36.2%となっているが、「機会や場所があれば」参加したいが36.2%である。

表15 地域活動不参加者の地域活動への参加希望

	総 数	機会や場所があれば	参加したいとは思わない	わからない	不 詳
今回	総 数 1,401 (100.0)	507 (36.2)	332 (23.7)	507 (36.2)	55 (3.9)
	18歳未満 388 (100.0)	201 (51.8)	46 (11.9)	128 (33.0)	13 (3.4)
	18歳以上 984 (100.0)	298 (30.3)	282 (28.7)	364 (37.0)	40 (4.1)
	不 詳 29 (100.0)	8 (27.6)	4 (13.8)	15 (51.7)	2 (6.9)
前回	(100.0)	(31.2)	(25.5)	(39.2)	(4.1)

(3) 地域活動不参加者の地域活動への参加条件

地域活動不参加者のうち、「いっしょに行ってくれる人がいれば」参加しやすいと答えた者が、32.9 %である。

表16 地域活動不参加者の地域活動への参加条件

	総 数	お知らせが あれば	いっしょに 行ってくれる 人がいれ	車で迎えに くれば	近くにあれ ば	その他	不 詳
今 回	総 数 1,401 (100.0)	183 (13.1)	461 (32.9)	72 (5.1)	204 (14.6)	179 (12.8)	302 (21.6)
	18歳未満 388 (100.0)	78 (20.1)	130 (33.5)	9 (2.3)	59 (15.2)	64 (16.5)	48 (12.4)
	18歳以上 984 (100.0)	102 (10.4)	327 (33.2)	60 (6.1)	138 (14.0)	110 (11.2)	247 (25.1)
	不 詳 29 (100.0)	3 (10.3)	4 (13.8)	3 (10.3)	7 (24.1)	5 (17.2)	7 (24.1)
前 回	(100.0)	(9.9)	(30.7)	(5.2)	(14.3)	(12.9)	(27.0)

(4) 現在学校を卒業している者の地域活動への参加状況

学校を卒業している者の日中活動の場別に、地域活動への参加状況をみると、「自分の家」にいる人のうち、「ほとんど参加しない」「参加したことはない」が合わせて80.0%である。

表17 学校を卒業している者の地域活動への参加状況

地域活動の 参加状況 現在の 日中活動の場	総 数	よく 参加する	時々 参加する	ほとんど 参加しない	参加した ことはない	不 詳
総 数	1,262 (100.0)	90 (7.1)	232 (18.4)	348 (27.6)	525 (41.6)	67 (5.3)
職場・会社	221 (100.0)	25 (11.3)	43 (19.5)	65 (29.4)	76 (34.4)	12 (5.4)
作業所	201 (100.0)	23 (11.4)	47 (23.4)	55 (27.4)	66 (32.8)	10 (5.0)
通所施設	381 (100.0)	24 (6.3)	89 (23.4)	115 (30.2)	136 (35.7)	17 (4.5)
デイサービス センター	48 (100.0)	1 (2.1)	6 (12.5)	18 (37.5)	21 (43.8)	2 (4.2)
自分の家	316 (100.0)	14 (4.4)	35 (11.1)	68 (21.5)	185 (58.5)	14 (4.4)
その他	95 (100.0)	3 (3.2)	12 (12.6)	27 (28.4)	41 (43.2)	12 (12.6)

表17で日中活動の場が「自分の家」で地域活動の参加状況が「ほとんど参加しない」「参加したことはない」者のひとりでの外出状況をみると、「よく出かける」「時々出かける」が合わせて45.0%である。一方、「ほとんど出かける」は39.1%である。

表18 ひとりでの外出状況

総数	よく出かける	時々出かける	ほとんど出かける	不詳
253 (100.0)	76 (30.0)	38 (15.0)	99 (39.1)	40 (15.8)

## 10 相談相手

18歳未満では、「親、祖父母」72.3%、「会社の人・学校の先生」43.2%、「医師」21.7%の順となっている。18歳以上では、「親、祖父母」62.3%、「施設の職員・グループホームの世話人」38.1%、「兄弟姉妹」30.8%の順である。

表19 相談相手

	総数	親、 祖父母	兄弟姉妹	友人・ 知人	会社の人・学校 の先生	医 師	施設の職 員・グ ループ ホームの 世話人	専門機関 の職員	市(区)役 所・町村 役場の職 員	民生委 員・児童 委員	知的障害 者相談員	障害者の 団体	その他
総数	2,075 (100.0)	1,338 (64.5)	571 (27.5)	329 (15.9)	369 (17.8)	333 (16.0)	628 (30.3)	227 (10.9)	154 (7.4)	40 (1.9)	67 (3.2)	158 (7.6)	173 (8.3)
今回 18歳未満	581 (100.0)	420 (72.3)	111 (19.1)	92 (15.8)	251 (43.2)	126 (21.7)	69 (11.9)	73 (12.6)	26 (4.5)	5 (0.9)	11 (1.9)	67 (11.5)	43 (7.4)
今回 18歳以上	1,434 (100.0)	894 (62.3)	442 (30.8)	231 (16.1)	118 (8.2)	195 (13.6)	546 (38.1)	152 (10.6)	121 (8.4)	32 (2.2)	55 (3.8)	90 (6.3)	126 (8.8)
今回 不詳	60 (100.0)	24 (40.0)	18 (30.0)	6 (10.0)	( - )	12 (20.0)	13 (21.7)	2 (3.3)	7 (11.7)	3 (5.0)	1 (1.7)	1 (1.7)	4 (6.7)
前回	(100.0)	(63.0)	(28.1)	(15.9)	(18.4)	(16.7)	(23.0)	(14.8)	(7.3)	(2.3)	(2.7)	(10.8)	(8.5)

※ 3つまでの重複選択

## 11 暮らしの充実の希望

### (1) 福祉行政などに期待すること

前回と同じく「障害者に対する周りの人の理解」が42.1%と最も多く、次いで「必要な時に施設を利用できる制度」「経済的援助」「相談や指導」となっている。

表20 福祉行政などに期待すること

	総数	相談や指導	早期発見・早期療育	必要な時に施設を利用できる制度	ホームヘルパー	医療	経済的援助	ボランティア活動	障害者に対する周りの人の理解	人としての権利の保護	その他	
今回	総数	2,075 (100.0)	610 (29.4)	150 (7.2)	772 (37.2)	227 (10.9)	350 (16.9)	729 (35.1)	156 (7.5)	874 (42.1)	310 (14.9)	118 (5.7)
	18歳未満	581 (100.0)	199 (34.3)	88 (15.1)	276 (47.5)	71 (12.2)	96 (16.5)	243 (41.8)	42 (7.2)	327 (56.3)	98 (16.9)	37 (6.4)
	18歳以上	1,434 (100.0)	405 (28.2)	61 (4.3)	485 (33.8)	150 (10.5)	244 (17.0)	472 (32.9)	113 (7.9)	536 (37.4)	208 (14.5)	79 (5.5)
	不詳	60 (100.0)	6 (10.0)	1 (1.7)	11 (18.3)	6 (10.0)	10 (16.7)	14 (23.3)	1 (1.7)	11 (18.3)	4 (6.7)	2 (3.3)
前回		(100.0)	(29.6)	(7.4)	(39.6)	(10.4)	(14.9)	(27.2)	(8.0)	(44.6)	(14.1)	(3.8)

※3つまでの重複選択

### (2) 働く場所や生活する上で期待すること

「老後の生活」38.8%、「働く場所」33.4%、「通所施設」24.6%の順になっている。

表21 働く場所や生活する上で期待すること

	総数	通所施設	作業所	働く場所	入所施設	グループホーム	住まいについて	老後の生活	レクリエーションの場	生活環境	その他	
今回	総数	2,075 (100.0)	510 (24.6)	265 (12.8)	693 (33.4)	362 (17.4)	367 (17.7)	247 (11.9)	806 (38.8)	303 (14.6)	240 (11.6)	85 (4.1)
	18歳未満	581 (100.0)	204 (35.1)	95 (16.4)	290 (49.9)	97 (16.7)	106 (18.2)	76 (13.1)	212 (36.5)	91 (15.7)	90 (15.5)	32 (5.5)
	18歳以上	1,434 (100.0)	295 (20.6)	167 (11.6)	391 (27.3)	260 (18.1)	255 (17.8)	168 (11.7)	583 (40.7)	207 (14.4)	143 (10.0)	52 (3.6)
	不詳	60 (100.0)	11 (18.3)	3 (5.0)	12 (20.0)	5 (8.3)	6 (10.0)	3 (5.0)	11 (18.3)	5 (8.3)	7 (11.7)	1 (1.7)
前回		(100.0)	(23.7)	(16.1)	(29.4)	(17.5)	(18.1)	(9.3)	(35.1)	(17.1)	(10.6)	(2.3)

※3つまでの重複選択

## 1.2 いやな思いや差別の有無

「いやな思いがある」が前回調査時の56.9%より21.5ポイント減少しているが、依然として35.4%の人が「いやな思いがある」としている。

「いやな思い」の内容を聞いたところ、「じろじろ見られる」「サービスを拒否される」等、視線や態度に関するものが多いが、直接、「差別的なことを言われる」というような内容のものもあった。

表2.2 いやな思いの有無

		総数	いやな思いある	いやな思いない	不詳
今回	総数	2,075 (100.0)	734 (35.4)	1,093 (52.7)	248 (12.0)
前回		(100.0)	(56.9)	(31.4)	(11.8)

## 1.3 仕事をしている人の状況

### (1) 業務

一般就労や福祉的就労など、仕事をしている者は全体の37.5%であり、そのうち業務内容をみると、「作業所」が56.5%、「製造・加工業」が15.7%、「農畜産業、林業、漁業」が3.9%となっている。

表2.3 就労知的障害児(者)の業務

		総数	農畜産業 林業、 漁業	工事業	製造・ 加工業	出版・ 印刷業	運送業	卸売、 小売業	飲食店	旅館	クリーニ ング店	清掃業	その他	作業所	不詳
今回	総数	779 (100.0)	30 (3.9)	11 (1.4)	122 (15.7)	7 (0.9)	2 (0.3)	26 (3.3)	11 (1.4)	2 (0.3)	12 (1.5)	18 (2.3)	77 (9.9)	440 (56.5)	21 (2.7)
	最重度	59 (100.0)	(-)	(-)	2 (3.4)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	1 (1.7)	(-)	3 (5.1)	50 (84.7)	3 (5.1)
	重度	182 (100.0)	4 (2.2)	2 (1.1)	8 (4.4)	(-)	(-)	2 (1.1)	(-)	(-)	3 (1.6)	1 (0.5)	15 (8.2)	141 (77.5)	6 (3.3)
	中度	236 (100.0)	11 (4.7)	2 (0.8)	42 (17.8)	3 (1.3)	1 (0.4)	4 (1.7)	6 (2.5)	1 (0.4)	1 (0.4)	9 (3.8)	18 (7.6)	134 (56.8)	4 (1.7)
	軽度	213 (100.0)	11 (5.2)	4 (1.9)	54 (25.4)	4 (1.9)	1 (0.5)	16 (7.5)	2 (0.9)	1 (0.5)	5 (2.3)	6 (2.8)	31 (14.6)	73 (34.3)	5 (2.3)
	不詳	89 (100.0)	4 (4.5)	3 (3.4)	16 (18.0)	(-)	(-)	4 (4.5)	3 (3.4)	(-)	2 (2.2)	2 (2.2)	10 (11.2)	42 (47.2)	3 (3.4)
前回		(100.0)	(4.2)	(1.2)	(18.6)	(1.0)	(0.7)	(2.3)	(2.0)	(0.6)	(3.0)	(2.3)	(10.0)	(50.1)	(3.9)

※作業所は通所施設を含む

(2) 就労形態

「作業所」の58.3%に次いで、「正規の職員」が15.7%となっている。

表24 就労知的障害児(者)の就労形態

		総数	正規の職員	臨時雇	内職	家の仕事の手伝い	その他	作業所	不詳
今回	総数	779 (100.0)	122 (15.7)	116 (14.9)	5 (0.6)	35 (4.5)	40 (5.1)	454 (58.3)	7 (0.9)
	最重度	59 (100.0)	2 (3.4)	1 (1.7)	(-)	(-)	3 (5.1)	53 (89.8)	(-)
	重度	182 (100.0)	14 (7.7)	5 (2.7)	1 (0.5)	6 (3.3)	9 (4.9)	146 (80.2)	1 (0.5)
	中度	236 (100.0)	34 (14.4)	38 (16.1)	2 (0.8)	18 (7.6)	8 (3.4)	135 (57.2)	1 (0.4)
	軽度	213 (100.0)	56 (26.3)	57 (26.8)	1 (0.5)	8 (3.8)	14 (6.6)	75 (35.2)	2 (0.9)
	不詳	89 (100.0)	16 (18.0)	15 (16.9)	1 (1.1)	3 (3.4)	6 (6.7)	45 (50.6)	3 (3.4)
前回		(100.0)	(19.6)	(10.9)	(1.2)	(7.5)	(6.4)	(50.5)	(3.9)

(3) 就労時間

一日の実働時間(残業を含む)は、「4時間から6時間まで」が44.7%となっている。

表25 就労知的障害児(者)の就労時間

		総数	4時間まで	4時間から6時間まで	6時間から8時間まで	8時間から10時間まで	10時間より多い	不詳
今回	総数	779 (100.0)	163 (20.9)	348 (44.7)	226 (29.0)	23 (3.0)	8 (1.0)	11 (1.4)
	最重度	59 (100.0)	24 (40.7)	29 (49.2)	4 (6.8)	2 (3.4)	(-)	(-)
	重度	182 (100.0)	45 (24.7)	105 (57.7)	28 (15.4)	2 (1.1)	(-)	2 (1.1)
	中度	236 (100.0)	46 (19.5)	108 (45.8)	74 (31.4)	5 (2.1)	1 (0.4)	2 (0.8)
	軽度	213 (100.0)	32 (15.0)	79 (37.1)	80 (37.6)	13 (6.1)	6 (2.8)	3 (1.4)
	不詳	89 (100.0)	16 (18.0)	27 (30.3)	40 (44.9)	1 (1.1)	1 (1.1)	4 (4.5)
前回		(100.0)	(17.9)	(40.2)	(31.3)	(4.8)	(1.0)	(4.8)

(4) 就労日数

1か月の就労日数は、「16日から20日まで」が46.1%、「21日から25日まで」が36.6%となっている。

表26 就労知的障害児(者)の就労日数

		総数	10日まで	11日から15日まで	16日から20日まで	21日から25日まで	26日以上	不詳
今回	総数	779 (100.0)	29 (3.7)	55 (7.1)	359 (46.1)	285 (36.6)	21 (2.7)	30 (3.9)
	最重度	59 (100.0)	4 (6.8)	4 (6.8)	30 (50.8)	17 (28.8)	1 (1.7)	3 (5.1)
	重度	182 (100.0)	5 (2.7)	14 (7.7)	95 (52.2)	60 (33.0)	5 (2.7)	3 (1.6)
	中度	236 (100.0)	8 (3.4)	21 (8.9)	104 (44.1)	88 (37.3)	6 (2.5)	9 (3.8)
	軽度	213 (100.0)	8 (3.8)	12 (5.6)	96 (45.1)	85 (39.9)	5 (2.3)	7 (3.3)
	不詳	89 (100.0)	4 (4.5)	4 (4.5)	34 (38.2)	35 (39.3)	4 (4.5)	8 (9.0)
前回		(100.0)	(3.2)	(6.4)	(38.3)	(37.9)	(4.4)	(9.9)

(5) 給料

1ヶ月の給料をみると、5万円までが全体の67.3%になる。就労形態別の給料をみると、正規の職員・臨時雇として雇用されている者は「7万円～10万円まで」が26.1%と最も多く、作業所で働いている者では「1万円まで」が70.7%と最も多い。

表27 就労知的障害児(者)の給料

		総数	ない	1万円まで	1万円から3万円まで	3万円から5万円まで	5万円から7万円まで	7万円から10万円まで	10万円から13万円まで	13万円から15万円まで	15万円より多い	不詳
今回	総数	779 (100.0)	27 (3.5)	348 (44.7)	101 (13.0)	48 (6.2)	52 (6.7)	70 (9.0)	45 (5.8)	23 (3.0)	16 (2.1)	49 (6.3)
	最重度	59 (100.0)	3 (5.1)	46 (78.0)	4 (6.8)	(-)	(-)	1 (1.7)	1 (1.7)	(-)	(-)	4 (6.8)
	重度	182 (100.0)	3 (1.6)	114 (62.6)	24 (13.2)	6 (3.3)	7 (3.8)	4 (2.2)	5 (2.7)	(-)	1 (0.5)	18 (9.9)
	中度	236 (100.0)	9 (3.8)	96 (40.7)	42 (17.8)	23 (9.7)	20 (8.5)	20 (8.5)	7 (3.0)	5 (2.1)	2 (0.8)	12 (5.1)
	軽度	213 (100.0)	8 (3.8)	60 (28.2)	21 (9.9)	12 (5.6)	19 (8.9)	37 (17.4)	27 (12.7)	13 (6.1)	11 (5.2)	5 (2.3)
	不詳	89 (100.0)	4 (4.5)	32 (36.0)	10 (11.2)	7 (7.9)	6 (6.7)	8 (9.0)	5 (5.6)	5 (5.6)	2 (2.2)	10 (11.2)
前回		(100.0)	(6.0)	(33.8)	(11.3)	(7.0)	(7.0)	(11.0)	(7.3)	(2.0)	(2.5)	(12.2)

表28 就労知的障害児（者）（正規の職員、臨時雇用）の給料

総数	ない	1万円まで	1万円から3万円まで	3万円から5万円まで	5万円から7万円まで	7万円から10万円まで	10万円から13万円まで	13万円から15万円まで	15万円より多い	不詳
238 (100.0)	1 (0.4)	5 (2.1)	12 (5.0)	31 (13.0)	44 (18.5)	62 (26.1)	43 (18.1)	20 (8.4)	14 (5.9)	6 (2.5)

表29 就労知的障害児（者）（作業所）の給料

総数	ない	1万円まで	1万円から3万円まで	3万円から5万円まで	5万円から7万円まで	7万円から10万円まで	10万円から13万円まで	13万円から15万円まで	15万円より多い	不詳
454 (100.0)	10 (2.2)	321 (70.7)	75 (16.5)	8 (1.8)	4 (0.9)	1 (0.2)	(-)	(-)	(-)	35 (7.7)

#### 14 手当・年金の受給状況

##### (1) 手当・年金の受給の有無

手当・年金の受給者は、69.4%となっている。

表30 手当・年金の受給の有無

		総数	受給している	申し込み中	受給していない	不詳
今回	総数	2,075 (100.0)	1,440 (69.4)	20 (1.0)	292 (14.1)	323 (15.6)
	20歳未満	683 (100.0)	416 (60.9)	8 (1.2)	167 (24.5)	92 (13.5)
	20歳以上	1,332 (100.0)	998 (74.9)	12 (0.9)	119 (8.9)	203 (15.2)
	不詳	60 (100.0)	26 (43.3)	(-)	6 (10.0)	28 (46.7)
前回		(100.0)	(77.1)	(1.3)	(15.3)	(6.3)

(2) 手当・年金不受給者の不受給の理由

手当・年金を受給していない者の理由としては、「障害が軽いため」が50.3 %となっている。

表31 手当・年金不受給者の不受給の理由

	総数	制度を知らない	障害が軽いため	収入が多いため	その他	不詳
今回	総数 292 (100.0)	45 (15.4)	147 (50.3)	40 (13.7)	44 (15.1)	16 (5.5)
	20歳未満 167 (100.0)	19 (11.4)	74 (44.3)	36 (21.6)	30 (18.0)	8 (4.8)
	20歳以上 119 (100.0)	23 (19.3)	71 (59.7)	4 (3.4)	14 (11.8)	7 (5.9)
	不詳 6 (100.0)	3 (50.0)	2 (33.3)	(-)	(-)	1 (16.7)
前回	(100.0)	(17.9)	(48.2)	(14.3)	(14.3)	(5.2)

(3) 手当・年金受給者の手当・年金の種類

手当・年金受給者の手当・年金の種類をみると、20歳未満では「特別児童扶養手当」が87.7 %、20歳以上では、「障害基礎年金」が89.7 %となっている。

表32 手当・年金受給者の手当・年金の種類

	総数	特別児童扶養手当	障害児福祉手当	障害基礎年金	特別障害者手当	独自補助	その他	不詳
今回	総数 1,440 (100.0)	368 (25.6)	129 (9.0)	911 (63.3)	71 (4.9)	150 (10.4)	45 (3.1)	72 (5.0)
	20歳未満 416 (100.0)	365 (87.7)	128 (30.8)	(. .)	(. .)	68 (16.3)	9 (2.2)	12 (2.9)
	20歳以上 998 (100.0)	(. .)	(. .)	895 (89.7)	70 (7.0)	79 (7.9)	35 (3.5)	57 (5.7)
	不詳 26 (100.0)	3 (11.5)	1 (3.8)	16 (61.5)	1 (3.8)	3 (11.5)	1 (3.8)	3 (11.5)
前回	(100.0)	(26.1)	(14.1)	(63.7)	(6.1)	(前回項目なし)	(5.7)	(3.0)

※重複回答

(4) 都道府県・市区町村独自の手当・補助受給額

都道府県・市区町村独自の手当・補助受給者は全体の7.2%であり、20歳未満では「5万円まで」が72.1%、20歳以上では、「5万円まで」が59.5%となっている。

表33 都道府県・市区町村独自の手当・補助受給額

	総数	5千円まで	1万円まで	2万円まで	3万円まで	4万円まで	5万円まで	6万円まで	7万円まで	8万円まで	9万円まで	10万円まで	10万円をこえる	不詳
総数	150 (100.0)	45 (30.0)	23 (15.3)	16 (10.7)	5 (3.3)	7 (4.7)	3 (2.0)	12 (8.0)	8 (5.3)	10 (6.7)	2 (1.3)	7 (4.7)	6 (4.0)	6 (4.0)
20歳未満	68 (100.0)	23 (33.8)	11 (16.2)	4 (5.9)	1 (1.5)	7 (10.3)	3 (4.4)	7 (10.3)	5 (7.4)	3 (4.4)	(-)	(-)	1 (1.5)	3 (4.4)
20歳以上	79 (100.0)	22 (27.8)	12 (15.2)	9 (11.4)	4 (5.1)	(-)	(-)	5 (6.3)	3 (3.8)	7 (8.9)	2 (2.5)	7 (8.9)	5 (6.3)	3 (3.8)
不詳	3 (100.0)	(-)	(-)	3 (100.0)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)

15 親元からの仕送り額

親元から離れて生活している者は全体の12%であり、そのうち親元からの仕送り額をみると、20歳未満では「仕送りなし」が85.0%、20歳以上では、「仕送りなし」が79.5%となっている。

表34 親元からの仕送り額

	総数	なし	5千円まで	1万円まで	2万円まで	3万円まで	4万円まで	5万円まで	6万円まで	7万円まで	8万円まで	9万円まで	10万円まで	10万円をこえる
総数	247 (100.0)	197 (79.8)	12 (4.9)	9 (3.6)	12 (4.9)	5 (2.0)	2 (0.8)	3 (1.2)	4 (1.6)	(-)	(-)	1 (0.4)	1 (0.4)	1 (0.4)
20歳未満	20 (100.0)	17 (85.0)	1 (5.0)	(-)	(-)	1 (5.0)	(-)	1 (5.0)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
20歳以上	219 (100.0)	174 (79.5)	11 (5.0)	8 (3.7)	12 (5.5)	4 (1.8)	2 (0.9)	2 (0.9)	4 (1.8)	(-)	(-)	1 (0.5)	1 (0.5)	(-)
不詳	8 (100.0)	6 (75.0)	(-)	1 (12.5)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	1 (12.5)

## 16 診断・判定を受けた時期、機関

### (1) 診断・判定を受けた時期

「出生直後」から「小学校に入る時」までに、全体では52.6%、18歳未満では79.0%の者が「診断・判定を受けた」となっている。

表35 診断・判定を受けた時期

	総数	出生直後	乳児健診	1歳6か月児健診	3歳児健診	小学校に入る前	小学校に入る時	小学校にいる時	中学・高校にいる時	わからない	不詳	
今回	総数	2,075 (100.0)	186 (9.0)	145 (7.0)	138 (6.7)	285 (13.7)	280 (13.5)	58 (2.8)	175 (8.4)	255 (12.3)	220 (10.6)	333 (16.0)
	18歳未満	581 (100.0)	96 (16.5)	63 (10.8)	66 (11.4)	121 (20.8)	101 (17.4)	12 (2.1)	41 (7.1)	36 (6.2)	3 (0.5)	42 (7.2)
	18歳以上	1,434 (100.0)	87 (6.1)	82 (5.7)	72 (5.0)	164 (11.4)	177 (12.3)	46 (3.2)	132 (9.2)	217 (15.1)	213 (14.9)	244 (17.0)
	不詳	60 (100.0)	3 (5.0)	(-)	(-)	(-)	2 (3.3)	(-)	2 (3.3)	2 (3.3)	4 (6.7)	47 (78.3)
前回		(100.0)	(10.7)	(6.5)	(7.4)	(13.7)	(13.3)	(2.8)	(8.5)	(12.4)	(10.2)	(14.5)

### (2) 診断・判定を受けた機関

「児童相談所」が38.5%、「病院」が29.0%の順になっている。

表36 診断・判断を受けた機関

	総数	児童相談所	知的障害者更生相談所	保健所	病院	不詳	
今回	総数	2,075 (100.0)	798 (38.5)	287 (13.8)	103 (5.0)	602 (29.0)	285 (13.7)
	18歳未満	581 (100.0)	258 (44.4)	7 (1.2)	41 (7.1)	235 (40.4)	40 (6.9)
	18歳以上	1,434 (100.0)	533 (37.2)	280 (19.5)	62 (4.3)	361 (25.2)	198 (13.8)
	不詳	60 (100.0)	7 (11.7)	(-)	(-)	6 (10.0)	47 (78.3)
前回		(100.0)	(40.9)	(14.2)	(5.6)	(28.0)	(6.6)

## 17 療育手帳の所持状況

### (1) 療育手帳の有無

91.0 %の者が、療育手帳を所持している。

表37 療育手帳の有無

		総数	療育手帳所持	療育手帳不所持	不詳
今回	総数	2,075 (100.0)	1,888 (91.0)	121 (5.8)	66 (3.2)
	18歳未満	581 (100.0)	530 (91.2)	51 (8.8)	( - )
	18歳以上	1,434 (100.0)	1,339 (93.4)	63 (4.4)	32 (2.2)
	不詳	60 (100.0)	19 (31.7)	7 (11.7)	34 (56.7)
前回		(100.0)	(87.8)	(7.9)	(4.3)

### (2) 療育手帳の程度

療育手帳所持者の程度別の状況を見ると、「最重度」8.9%、「重度」34.3%、「中度」37.2%そして「軽度」は13.1%となっている。

表38 療育手帳の程度

		総数	最重度	重度	中度	軽度	不詳
今回	総数	1,888 (100.0)	168 (8.9)	648 (34.3)	703 (37.2)	248 (13.1)	121 (6.4)
	18歳未満	530 (100.0)	53 (10.0)	199 (37.5)	176 (33.2)	83 (15.7)	19 (3.6)
	18歳以上	1,339 (100.0)	114 (8.5)	445 (33.2)	521 (38.9)	161 (12.0)	98 (7.3)
	不詳	19 (100.0)	1 (5.3)	4 (21.1)	6 (31.6)	4 (21.1)	4 (21.1)
前回		(100.0)	(43.5)		(47.5)		(4.3)

(3) 療育手帳の取得年齢

18歳未満の児童では、4歳までに54.9%の者が手帳を取得している。

表39 療育手帳の取得年齢

	総数	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～17歳	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	不詳	
今回	総数	1,888 (100.0)	450 (23.8)	297 (15.7)	255 (13.5)	223 (11.8)	71 (3.8)	166 (8.8)	106 (5.6)	82 (4.3)	44 (2.3)	10 (0.5)	184 (9.7)
	18歳未満	530 (100.0)	291 (54.9)	143 (27.0)	50 (9.4)	30 (5.7)	(. )	(. )	(. )	(. )	(. )	(. )	16 (3.0)
	18歳以上	1,339 (100.0)	158 (11.8)	153 (11.4)	205 (15.3)	193 (14.4)	71 (5.3)	165 (12.3)	106 (7.9)	80 (6.0)	42 (3.1)	10 (0.7)	156 (11.7)
	不詳	19 (100.0)	1 (5.3)	1 (5.3)	(-)	(-)	(-)	1 (5.3)	(-)	2 (10.5)	2 (10.5)	(-)	12 (63.2)
前回		(100.0)	(22.3)	(17.6)	(13.5)	(11.8)	(3.8)	(10.3)	(4.9)	(4.4)	(1.9)	(0.5)	(8.9)

(4) 療育手帳不所持者の不所持理由

療育手帳不所持者の主な不所持理由をみると、18歳未満では「その他」が56.9%、18歳以上では「制度を知らない」が47.6%となっている。

表40 療育手帳不所持者の不所持理由

	総数	制度を知らない	申請するつもりがない	手続きがめんどう	申請したがもらえな	その他	不詳
総数	121 (100.0)	37 (30.6)	18 (14.9)	2 (1.7)	9 (7.4)	43 (35.5)	12 (9.9)
18歳未満	51 (100.0)	5 (9.8)	8 (15.7)	(-)	6 (11.8)	29 (56.9)	3 (5.9)
18歳以上	63 (100.0)	30 (47.6)	10 (15.9)	2 (3.2)	2 (3.2)	13 (20.6)	6 (9.5)
不詳	7 (100.0)	2 (28.6)	(-)	(-)	1 (14.3)	1 (14.3)	3 (42.9)

18 身体障害者手帳所持状況等

(1) 身体障害の種類

在宅知的障害児(者)の全体の17.1%が身体障害者手帳を所持している。そのうち、身体障害の種類をみると、「肢体不自由」が68.5%と最も多い。

表41 身体障害者手帳所持者の身体障害の種類

	総数	視覚障害	聴覚または平衡機能の障害	音声機能、言語機能または、そしゃく機能の障	肢体不自由	内部障害
総数	355 (100.0)	58 (16.3)	38 (10.7)	63 (17.7)	243 (68.5)	47 (13.2)

※重複回答

(2) 身体障害者手帳の等級

身体障害者手帳の等級をみると、1級と2級を合わせて68.7%となっている。知的障害の程度別に見ると、最重度の者は、身体障害者手帳の1、2級が87.4%、重度の者は、1、2級が66.3%となっている。

表4-2 身体障害者手帳所持者の身体障害の等級

		総数	1級	2級	3級	4級	5級	6級	不詳
今回	総数	355 (100.0)	155 (43.7)	89 (25.1)	37 (10.4)	28 (7.9)	21 (5.9)	8 (2.3)	17 (4.8)
	最重度	143 (100.0)	93 (65.0)	32 (22.4)	9 (6.3)	4 (2.8)	2 (1.4)	1 (0.7)	2 (1.4)
	重 度	104 (100.0)	38 (36.5)	31 (29.8)	11 (10.6)	7 (6.7)	10 (9.6)	2 (1.9)	5 (4.8)
	中 度	59 (100.0)	9 (15.3)	18 (30.5)	7 (11.9)	11 (18.6)	7 (11.9)	2 (3.4)	5 (8.5)
	軽 度	26 (100.0)	4 (15.4)	5 (19.2)	8 (30.8)	3 (11.5)	2 (7.7)	3 (11.5)	1 (3.8)
	不 詳	23 (100.0)	11 (47.8)	3 (13.0)	2 (8.7)	3 (13.0)	( - )	( - )	4 (17.4)
前回		(100.0)	(37.5)	(27.1)	(11.0)	(8.5)	(6.3)	(4.7)	(4.7)

(3) てんかん等の有無

①「てんかんがある」者は、在宅知的障害児（者）の11.3%となっている。

表4-3 てんかんの有無

	総数	最重度	重度	中度	軽度	不詳
総数	2,075 (100.0)	309 (14.9)	506 (24.4)	529 (25.5)	483 (23.3)	248 (12.0)
該当数	235 (100.0)	98 (41.7)	59 (25.1)	31 (13.2)	34 (14.5)	13 (5.6)

②「統合失調症、その他の精神疾患がある」者は、在宅知的障害児（者）の3.2%となっている。

表4-4 統合失調症、その他の精神疾患の有無

	総数	最重度	重度	中度	軽度	不詳
総数	2,075 (100.0)	309 (14.9)	506 (24.4)	529 (25.5)	483 (23.3)	248 (12.0)
該当数	66 (100.0)	7 (10.6)	14 (21.2)	27 (40.9)	15 (22.7)	3 (4.5)

③「自閉症がある」者は、在宅知的障害児（者）の9.3%となっている。

表45 自閉症の有無

	総数	最重度	重度	中度	軽度	不詳
総数	2,075 (100.0)	309 (14.9)	506 (24.4)	529 (25.5)	483 (23.3)	248 (12.0)
該当数	194 (100.0)	35 (18.0)	70 (36.1)	39 (20.1)	39 (20.1)	11 (5.7)

## 19 精神保健福祉手帳所持状況

「精神保健福祉手帳を所持している」者は、在宅知的障害児（者）の1.7%となっており、そのうち1級が25.0%、2級が41.7%となっている。

表46 精神障害者保健福祉手帳の等級

	総数	1級	2級	3級	不詳
総数	36 (100.0)	9 (25.0)	15 (41.7)	4 (11.0)	8 (22.2)
18歳未満	2 (100.0)	(-)	1 (50.0)	(-)	1 (50.0)
18歳以上	32 (100.0)	9 (28.1)	12 (37.5)	4 (12.5)	7 (21.9)
不詳	2 (100.0)	(-)	2 (100.0)	(-)	(-)

## 20 精神障害者通院医療公費負担決定の状況

「精神障害者通院医療公費負担決定を受けている」者は、在宅知的障害児（者）の6.8%となっている。

表47 精神障害者通院医療公費負担決定の状況等

	総数	最重度	重度	中度	軽度	不詳
総数	2,075 (100.0)	309 (14.9)	506 (24.4)	529 (25.5)	483 (23.3)	248 (12.0)
該当数	142 (100.0)	23 (16.2)	46 (32.4)	41 (28.9)	25 (17.6)	7 (4.9)

# 用語の定義

この調査における用語は次のように定義して用いている。

## 1 知的障害

「知的機能の障害が発達期（おおむね18歳まで）にあらわれ、日常生活に支障が生じているため、何らかの特別の援助を必要とする状態にあるもの」と定義した。

なお、知的障害であるかどうかの判断基準は、以下によった。

<p>次の（a）及び（b）のいずれにも該当するものを知的障害とする。</p> <p>（a）「知的機能の障害」について 標準化された知能検査（ウェクスラーによるもの、ビネーによるものなど）によって測定された結果、知能指数がおおむね70までのもの。</p> <p>（b）「日常生活能力」について 日常生活能力（自立機能、運動機能、意思交換、探索操作、移動、生活文化、職業等）の到達水準が総合的に同年齢の日常生活能力水準（別記1）のa、b、c、dのいずれかに該当するもの。</p> <p style="text-align: right;">（※別記1省略）</p>
--

## 2 知的障害の程度

以下のものを、基準として用いた。

\* 知能水準がⅠ～Ⅳのいずれに該当するかを判断するとともに、日常生活能力水準がa～dのいずれに該当するかを判断して、程度別判定を行うものとする。その仕組みは下図のとおりである。

・程度別判定の導き方					<p>*知能水準の区分</p> <p>Ⅰ …… おおむね20以下</p> <p>Ⅱ …… おおむね21～35</p> <p>Ⅲ …… おおむね36～50</p> <p>Ⅳ …… おおむね51～70</p> <p>*身体障害者福祉法に基づく障害等級が1級、2級又は3級に該当する場合は、一次判定を次のとおりに修正する。</p> <p>・最重度 → 最重度</p> <p>・重 度 → 最重度</p> <p>・中 度 → 重 度</p>
生活能力	a	b	c	d	
IQ					
Ⅰ (IQ 20以下)	最重度知的障害				
Ⅱ (IQ 21～35)	重度知的障害				
Ⅲ (IQ 36～50)	中度知的障害				
Ⅳ (IQ 51～70)	軽度知的障害				

※程度判定においては日常生活能力の程度が優先される。

例えば知能水準が「Ⅰ (IQ 20以下)」であっても、日常生活能力水準が「d」の場合の障害の程度は「重度」となる。

### 3 保健面・行動面について

保健面・行動面について「保健面・行動面の判断」によって、それぞれの程度を判定し、程度判定に付記するものとした。

#### 保健面・行動面の判断

程度 領域	1 度	2 度	3 度	4 度	5 度
保健面	身体的健康に嚴重な看護が必要。生命維持の危険が常にある	身体的健康に常に注意、看護が必要。発作頻発傾向	発作が時々あり、あるいは周期的に変調がある等のため一時的又は時々看護の必要がある	服薬等に対する配慮程度	特に配慮は必要ない
行動面	行動上の障害が顕著で、常時付添い注意が必要	行動上の障害があり、常時注意が必要	行動面での問題に対し注意したり、時々指導したりすることが必要	行動面での問題に多少注意する程度	特に配慮は必要ない

(注) 行動上の障害とは、多動、自分を傷つける、物をこわす、拒食の問題等、本人が安定した生活続けることを困難にしている行動をさします。